

7. 障害者支援（学部・大学院共通）

① 障害学生修学支援を目的とした講義科目

- (1) 福祉ビジネス論（人間社会学部 前期科目）履修学生：35名
- (2) ボランティアの研究(1)（工学部 前期科目）履修学生：39名
- (3) ボランティアの研究(1)（人間社会学部 前期科目）履修学生：44名
- (4) ボランティアの研究(2)（工学部 前期科目）履修学生：3{(工 36名)・(人 40名)}
- (5) ボランティアの研究(3)（工学部 後期科目）履修学生(仮登録)：84名
- (6) ボランティアの研究(3)（人間社会学部 後期科目）履修学生(仮登録)：2名

② 平成28年度ノートテイクの実施状況

- (1) ノートテイクカー募集説明会の実施 なし
- (2) ノートテイク養成講座の実施 なし
 - ・第1回目 4月22日(水) 講師：北条 本学学生相談員
- (3) ノートテイク支援者
 - ・1名(工学部・情報システム学科 4年生)
 - ・1名(人間社会学部・情報システム1年)
- (4) ボランティア登録数
 - ・学生：50名(学部生)
 - ・一般：なし

③ 入学者選抜における配慮について

- (1) 事前に障害の内容を確認し、その状況に応じできる限りの配慮を行っている。
学生募集要項にも事前相談を周知し、個別対応としている。

④ 発達障害等の学生に対し、教育上の配慮の実施について

- (1) 学部学科の学生委員が履修したそれぞれの担当科目の教員と連携して、対応を行っている。
- (2) 学生委員の指示のもと、担任と副担任が連携して日々の生活を見守っている。
- (3) 学生の状況に応じ、「カウンセリングルーム」や「臨床心理センター」を有効に活用している。